

ICE

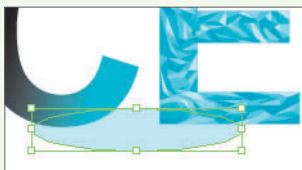
Waza No. APPLICATION FONT
005 Illustrator 9.0 Arial Bold

凍りつくような質感の ロゴビジュアル

- スマートガイドで効率よく作業
- シアンだけの色調で冷たさを演出
- クリッピングマスクで鏡面反射の表現

制作・文：酒井宏造

4 さらに雰囲気を出すため、文字の下に水溜まりを制作する。楕円形ツールで適度な大きさの円を描き、[塗り:C20]に設定。次に、「C」「E」を選択してリフレクトツールを[リフレクトの軸：水平][コピー]で実行。これを元の「C」「E」の下まで移動する



1 加工する文字を入力(ここでは[フォント：Arial Bold]、[ICE]とした)。今回は文字の中にビジュアルを描き込むため、できるだけタイプフェイスの面積が大きいフォントを使うといい。次に、文字をカーニングしてからアウトライン化し、オブジェクトメニュー→「グループ解除」を実行。さらに、「[C]」を[塗り：黒]、「[E]」を[塗り：C80]とする



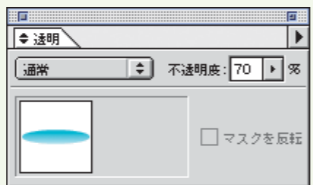
2 「E」の文字内に氷の質感を表わす模様を描き込んでいく。画面メニュー→「スマートガイド」を有効にして、パスやアンカーポイントに沿ったパスを容易に描けるようにしよう。今回は、氷らしく角張ったパスを描き込んでいく。パスの間に隙間ができないように、ていねいに根気よくやるのが大切だ



3 氷の破片の塗りにはシアン濃度だけを増減させて、氷らしい陰影をつけていく。使用するのはC100、C90、C80、C60、C40、C20。文字「C」には[K100]から[C80]に移行する線形グラデーションを適用して、グラデーションツールで位置を調整しておく



5 先につくった水溜まりのパスをコピー&ペーストして、オブジェクトメニュー→「アレンジ」→「最前面へ」を適用する。このパスと反転コピーした「C」「E」を同時に選択して、オブジェクトメニュー→「クリッピングマスク」→「作成」を実行。さらに、水たまりのパスを再度コピー&ペーストして、最前面へ移動し、塗りを[C20]と[C80]とのグラデーションにして、透明パレットで[不透明度：70%]に設定したら完成だ



1 ベースとする文字を入力(ここでは、[フォント：Futura Condense Extra Black])。文字内にイラストを映し出すロゴを作成するため、なるべくタイプフェイスの面積が広いフォントを選ぶ。文字を入力したら、ロゴとしてのまとまりを出すため、できるだけ文字を密着させるようにカーニングする。ただし読みやすさはしっかり考慮しよう

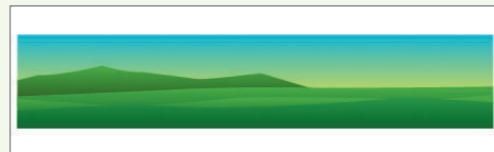
LANDSCAPE

LANDSCAPE

2 今度は文字内に映し出される風景のイラストを制作する。入力した文字幅と高さに合わせて長方形を描く。この長方形に対して、[Y100]から[C80]に移行する線形グラデーションを[角度：90°]で適用



3 ペンツールで緩やかなラインを描き、グラデーションを適用して連なる起伏のある平原を表現。背景として山を描き、オブジェクトメニュー→「ブレンド」を利用して、空に太陽を加える。これでパノラマ的な風景の完成だ



4 オブジェクトメニュー→「アレンジ」→「最前面へ」で文字を移動し、長方形のイラストの上に配置し、アウトライン化する。さらに、オブジェクトメニュー→「複合パス」→「作成」を実行。最後に、文字とイラストを同時に選択して、「クリッピングマスク」→「作成」を実行すれば完成だ



APPLICATION FONT Waza No.
Illustrator 9.0 Futura Condense Extra Black 006

文字とイラストを 組み合わせた型抜きロゴ

- クリッピングマスクでイラストを型抜く
- 型抜き素材には写真も使用可能
- 色や画像を変えてバリエーションもできる

制作・文：酒井宏造